

1、大西広「『南』の視座からのウクライナ問題」

ロシアのウクライナ侵略は非難されるが、それにどう対処するかで世界が割れている。反ロシアで結束し軍事同盟の強化にすすむ米欧と、それに距離おく「南」の世界の対応の違いをどう理解するか、の論考です。

2、ピープルズ・ワールド紙(アメリカ左翼系紙)「ドイツ左翼党は “ ロシア制裁 ” の巻き添え被害を拒否する」

エネルギー価格の高騰に抗議し、ウクライナ戦争の停止をもとめるドイツ市民の行動とドイツ左翼党の最近の動向のレポートです。

3、P・ゴバル「女王は英王室が犯した罪を免れない」

英ケンブリッジ大教員の筆者が、エリザベス女王の死去にあたって英王室と政治、奴隷制や植民地支配の責任にふれて告発しています。

4、ジャマイカ擁護グループ「英ウィリアム王子夫妻への公開書簡」

去る3月英王子夫妻の訪問に先立って、ジャマイカの有識者100人が、奴隷制や植民地支配の謝罪と賠償を求めて発表しました。

5、ナタリア・サラサール「母なる大地との共生」

日本 AALA 主催ラテンアメリカ文化講演会での駐日ボリビア臨時代理大使の講演録です。「自然と多民族の共生」めざす新しい国づくりの現状を説明していただきました。

6、G・ドゥラン「母なる大地の保護と擁護のための規範的原則」

7 日本 AALA 主催ラテンアメリカ文化講演会での駐日ボリビア大使館書記官による講演録です。新しい憲法と法律の枠組みを解説いただいています。